

事例 2 豪雨災害の復旧を通じた地域振興への寄与

(東北森林管理局 秋田森林管理署)



- ・ 秋田県^{せんぼく}仙北市 ^{かたまえやま} 湯前山国有林
- ・ (左) セーフティクライマー工法(令和7(2025)年6月)
- ・ (右) 完成写真(令和7(2025)年8月)

令和5(2023)年7月、豪雨により秋田県^{せんぼく}仙北市の国有林において山腹崩壊が発生し、直下の県道が通行止めとなりました。この県道は地元仙北市を代表するスポーツイベント「田沢湖マラソン」のコースであり、同市からも早期復旧の要望が出されていました。

被災箇所は、急勾配かつ道路からも遠く離れていたことから、同署では、早期に工事を完了するため、資材運搬・人員輸送にモノレールを活用しました。また、リモコンを用いた遠隔操作により、重機に搭乗せず安全に掘削を行うことができるセーフティクライマー工法を採用し、工事を実施しました。

その結果、令和7(2025)年4月から7月までの3か月間で、土留工2基、丸太筋工30m、植生マット伏工566m²等の復旧工事が完成し、同年9月21日に、全国各地から約3千人がエントリーした第38回田沢湖マラソンは無事に開催されました。

同署では、引き続き、地域の要望を踏まえながら、災害復旧に取り組んでいきます。